

# 国際法ふみにじる ウクライナ侵略

ロシアは ただちに 中止・撤退を

## 侵略正当化のプーチン演説 国際法の根拠なし

プーチン大統領は、ウクライナ東部地域から「要請」を受けた「集団自衛権」にもとづく行動だと強弁。しかしウクライナ東部地域は「独立国」などではありません。いくら国連憲章をもちだしても、国際法違反の侵略行為を正当化することはできません。

## 国際社会はロシアを包囲

国連総会は3月24日、ロシアのウクライナ侵略に関する緊急特別会合で、ロシア軍による民間人や民間施設への無差別攻撃を非難し、即時停止を求める決議案を圧倒的な賛成多数で採択しました。

「ウクライナに対する侵略の人道的结果」と題した決議はフランスとメキシコが主導し、90カ国が共同提案しました。賛成は国連加盟国193カ国の7割を超え140カ国。

3月2日とほぼ同じ採決結果になったことについて「世界はウクライナへの侵略を非難し、国際人道法、国際法、国連の諸原則を支持する点で引き続き結束している」(オーストリアの大使)と受け止められています。



## 日本政府は非軍事支援でウクライナの人々を救え

ウクライナの人々の命と生活を支援するため、食料や医薬品、防寒着などの支援物資を大量に民間の力も借りて送ることが急務です。憲法9条を持つ日本が紛争当事国のウクライナに自衛隊の装備品を送ることは反対です。非軍事の支援に徹すべきです。